



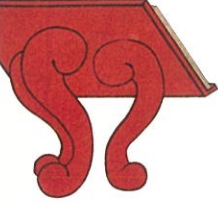
京都府古典芸能振興補助対象公演

# 常磐津

# 都会

ときわ  
みやこかい

七十五周年  
記念演奏会



平成十五年 十月二十六日(日)  
開場・午前十時三十分 / 開演・午前十一時

京都芸術劇場 春秋座

京都造形芸術大学内 / 〇七五七九二八二四〇

一般・三〇〇〇円 / 学生・一〇〇〇円

主催 / 常磐津都毘蔵

後援 / 京都府・京都市

財団法人 京都芸術文化協会

社団法人 関西常磐津協会

人間国宝

常磐津 一巴太夫

坂東 三津五郎

井上 八千代

常磐津 都毘蔵



常磐津  
小文字太夫

京都府古典芸能振興補助対象公演

# 常磐津

# 都会

ときわす  
みやこかい

## 七十五周年記念演奏会

平成十五年 十月二十六日(日)

開場・午前十時三十分 / 開演・午前十一時

### 京都芸術劇場 春秋座

京都造形芸術大学内

一般・三〇〇〇円 / 学生・一〇〇〇円

主催 / 常磐津 都氏蔵

後援 / 京都府・京都市

財団法人 京都芸術文化協会

社団法人 関西常磐津協会

■チケット取り扱い・お問い合わせ先

京都芸術劇場 劇場企画運営室

〇七五・七九一・八二四〇

常磐津 都氏蔵

〇七五・五四一・五〇三八(ファクシミリ)

### 京都芸術劇場 春秋座

京都造形芸術大学 デイーズギャラリー

〒六〇六・八二七 京都市左京区北白川瓜生山二・二六

市バス5系統 204系

統・3系統「上終町京都

造形芸大前」下車 ※行

き先表示にご注意くだ

さい。

叡山電車「茶山」駅下車

徒歩10分

※本学には駐車場がご



## 常磐津 (ときわす)

常磐津文字太夫が、18世紀のなごころに江戸で始めた、太夫と三味線による歌舞伎音楽。舞台上で演奏する出語りの形式で発展した。三味線が二人、語る太夫が三人という二挺三枚が基本的な編成。代表的な曲目に「関の扉」「戻駕」「双面」「乗合船」「将門」「年増」「三世相」「山姥」「釣女」などがある。

## 都会 (みやこかい)

大正12年の大震災により東京から京都へ移った常磐津都が、弟子を中心に震災直後からはじめた勉強会を発展させ、昭和3年に都会とした。都は、明治の名人林中の高弟とされる都太夫の弟子である。翌年都は亡くなるが、都会は文系(夫)、文之助(長男)、春字太夫(次男)、文弥(三男)、そして当代都氏蔵(孫)によって途切れることなく毎年、時には年に二度というペースで意欲的に七十五年続けられてきた。今回は、現在聴くことのできない廃曲寸前ともいえるべき稀曲を80年ぶりに披露する。「朝比奈地獄めぐり」「忠臣二度目清書」「色直肩毛氈」「心中浮名鯨鮎 下」「関取千両幟 喧嘩場の段」など九曲。これらの譜は文之助が廃曲になることをおそれ書き残しておいたものである。七十五周年を記念して井上八千代の京舞、坂東三津五郎の舞踊が花を添える。

## 浮世絵・都氏蔵コレクション

## 「目でみる常磐津」展

「常磐津」をキーワードに収集した都氏蔵コレクションのなかから、舞台上で演奏する姿を描いた「出語り図」といわれる浮世絵を中心に、常磐津の世界をのぞいてみる。あわせて「都会」の足跡をたどりながら、常磐津の歴史を振り返る。京都造形芸術大学 デイーズギャラリーの作り出す展示空間で、目でみる常磐津のはなやかな美の世界を満喫してほしい。

平成十五年 十月十七日(金)～十月二十九日(水)  
午前十時三十分 / 午後六時三十分(最終日は午後五時まで)  
京都造形芸術大学 デイーズギャラリー  
入場無料 会期中無休



廓八景

舌切り雀 上

東都獅子

松廻羽衣

阿古屋三曲

千代の友鶴

千両幟 喧嘩場

千両幟 紙梳き

八犬伝 上

菊の栄

戻駕

うつば

戻橋

松島

白糸 上

関の扉 下

角兵衛

舞踊

老松

おかめ与兵衛

万福屋

傾城

寺岡切腹

本蔵下屋敷

朝比奈地獄巡り

京舞

簸源太

## 常磐津 都氏蔵

常磐津 都久子

常磐津 都司馬太夫

常磐津 文八

常磐津 都清太夫

常磐津 都氏久

常磐津 都貴太夫

常磐津 都勢太夫

常磐津 都く子

常磐津 都鬼太夫

常磐津 喜三知都

常磐津 都陽

常磐津 都世

北村 行彦

吉田 能富子

山口 久仁子

渡辺 大祐

中尾 健雄

城谷 葉子

吉村 由美

福田 敦子

荒木 弘子

平田 友絵

山田 玲子

力武 泰子

富田 礼子

相愛大学

坂井 麻衣子

大河 輝枝

仁田 多恵

神庭 愛

丸田 綾音

山崎 雅世

土居 加奈

平橋 佳代子

辨天 芳枝

野中 若葉

渡辺 舞子 ほか

京舞

井上 八千代

舞踊

坂東 三津五郎

社団法人 関西常磐津協会

常磐津 小由太夫

常磐津 一 巴太夫

常磐津 一 佐太夫

常磐津 欣勢太夫

常磐津 巴松太夫

常磐津 都代太夫

常磐津 三代太夫

常磐津 三賀太夫

常磐津 巴瑠幸太夫

常磐津 文三

東京

常磐津 兼豊

常磐津 美寿郎

鳴物

藤舎 呂浩

藤舎 勘秀

望月 天津寿郎

望月 隆一郎

望月 太八紀

笛

藤舎 正生

スタッフ

大道具

(株)京都舞台美術

製作所

音響

有限会社クワット

照明

株式会社リュウ

狂言

前原 和比古

今井 三絃店

ナレーター

飛鳥井 かつり

諸事情により番組・出演者に変更の折はご了承下さい。

文責

京都造形芸術大学 映像舞台芸術学科教授 山口 章子